

東畑精一 （註） 農業經濟學者、農學博士。明治三十一年二月一日（二重縣）志那豐地村生れ、昭和五十八年五月六日歿（八十九（九三））。第八高等學校を經く、大正十一年東京帝國大學農學科卒。十五年アメリカ留學、昭和四年ドイツに渡り、ボン大學でシエンパーターに學ぶ。八年東京帝大教授、二十一年農林省農業綜合研究所所長兼任。爾後農業基本法制度に關與し、農業審議會會長等を務めた。著、シエンパーターの遺著『經濟分析の歴史』全七卷（昭和二十年十月二十日—二十七年四月二十日岩波書店）を夫人の委囑により日本語譯。五十五年文化勳章受章。

著書に、『増訂日本農業の展開過程』（昭和十一年六月—二十五年岩波書店）、『農村問題の諸相』（昭和十二年十一月十日岩波書店）、『米』（昭和十五年一月—二十日中央公論社）、『日本農業の課題』（昭和十六年十一月十九日岩波書店）、『一農政學徒の記録』（昭和十七—十八年十一月十日岩波書店）、『一農政學徒の記録』（昭和十七—十八年十一月十日岩波書店）、『新日本建設原理』（他六名合著・大倉山文化科學研究所編、昭和二十二年六月十五日明世堂書店）、『回想の三木清』（谷川徹三共編、昭和二十二年一月十五日文化書院）、『アメリカ資本主義見聞記』（昭和二十二年十月十七日岩波書店『岩波新書』）、『一卷の人生』（昭和二十五年二月—二十五年私家版）、『農書小歴史あり』（昭和四十八年二月—二月三日家の光協会）等、譯書にヴィゴドレンスキ―著『農業政策』（山田勝次郎共譯、大正十二年七月—二十日岩波書店）、シエンパーター著『經濟發展の理論』（中山伊知郎共譯、昭和二十二年七月—二十日岩波書店）、同著『經濟學史』（中山伊知郎共譯、昭和二十五年十一月十五日岩波書店）等がある。歿後『東畑精一先生』

『足跡』（昭和五十九年四月二十五日故東畑精一先生合同葬実行委員  
会縮刊）出版。

